

# 産業部

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	6	月	5	日	
事務事業名	担い手育成支援事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	薄井 享								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	4 担い手による農業の展開										
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	担い手育成支援事業	根拠法令	那珂市認定農業者等経営支援補助金交付要項、那珂市農業基盤強化資金利子助成金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 地域農業の担い手である認定農業者等に対して、導入する機械等(支援)・認定農業者等連絡会(活動費)及び認定新規就農者に対し、補助金を交付し支援する。那珂市農業後継者クラブの活動を支援する。						<b>【業務内容】</b> 認定農業者、農業機械士会、新規就農者、農業後継者クラブ等の活動に要する事務及び補助金の支払い						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
(経営支援)認定農業者、農業機械士会、集落営農組織、新規就農者、ひたちなか・東海・那珂ほしほ協議会那珂支部会員(利子補給)認定農業者	認定農業者数	経営体	87.	84.	89.	92.	92.
	ひたちなか・東海・那珂ほしほ協議会那珂支部会員	経営体	30.	27.	27.	27.	27.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
(経営支援)認定農業者等が購入する機械等の購入費に対し補助金を交付する。 (利子補給)農業の規模拡大を図るために資金を借り入れた認定農業者へ利子助成を行う。	支援費補助件数(経営支援)	件	13.	15.	15.	15.	15.
	支援費補助金額(経営支援)	千円	8212.	8500.	9500.	9500.	9500.
	支援費補助件数(利子補給)	件	4.	4.	4.	4.	3.
	支援費補助金額(利子補給)	千円	292.	248.	203.	158.	112.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
金融面からの支援で、経営基盤の強化を図り、効率的かつ安定的な農業経営及び農業経営規模の拡大による生産性を高める。	(経営支援)過去に1回以上活用した対象者	%	76.9	86.7	86.7	86.7	86.7
	(利子補給)過去に1回以上活用した対象者	%	9.2	8.9	8.7	8.7	8.7
	認定農業者増加数	経営体	4.	1.	3.	3.	3.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	5,840	3,480	3,480	3,480	3,480
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,483	9,761	14,377	14,377	14,377
	事業費計(A)	千円	15,323	13,241	17,857	17,857	17,857
人件費計(B)	千円	2,731	2,623	2,623	2,623	2,623	0.51人
投入量(A)+(B)	千円	18,054	15,864	20,480	20,480	20,480	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	(経営支援)平成11年度に那珂市認定農業者等連絡会を設立した際、会員から要望があり平成12年度から当事業を導入した。 (利子補給)経営規模拡大を考えている認定農業者を支援する。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?	(経営支援)認定農業者のほか、規模拡大者、特産物開発者、協議会の認定する三ツ星生産者も対象とした。 (利子補給)農業の近代化、集積化により大型機械等を購入する農家が増加した。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	農業用機械は高額であることから、農業用機械の購入に対する補助があることで大規模化・農地の集約化に資することができるとの意見が多い。						

(4)前回(平成28年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 農業は市の基幹産業であり、農業振興のためには担い手育成や支援は欠かせない事業であり、市が実施することは妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ 高齢化による引退者からの円滑な事業継承と新規就農者への支援により、認定農業者の減少に歯止めをかけることが期待できる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？ 類似事業はない。事業が廃止された場合、他に類似事業がないことから担い手への支援に影響があると見込まれる。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 事業費及び人件費ともに必要最低限であり削減の余地はない。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 認定農業者への支援は市農業振興には欠かせないものであり、農業機械等の購入費に対する補助は自己負担割合8割で適当な相応負担と考えられる。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 市の基幹産業である農業振興のためには、担い手の育成支援は欠かせないものであり、今後も認定農業者や認定農業者を目指すものに対して、関係者が出席する会議や市お知らせ版等を利用して制度の周知を図り、規模拡大、集約化、作業効率化のための支援を行っていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市の基幹産業である農業振興のため、担い手の育成・支援は必要であり、今後も認定農業者等に対し、関係者が出席する会議や市お知らせ版等を利用して制度の周知を図り、更なる規模拡大、集約化、作業効率化のための支援を継続する必要がある。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	6	月	5	日
事務事業名	遊休農地解消対策事業				事業類型	補助金	点検日		年		月
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	廣木 智也							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり									
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	3 農地の有効活用									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	遊休農地解消対策事業	根拠法令	那珂市遊休農地解消対策補助金交付要項
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 病害防除等の土壌改良効果のほか、雑草繁茂抑制及び土埃の飛散防止等の対策を行う。						<b>【業務内容】</b> ・規格外麦の無料配布					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
遊休農地になりそうな農地、遊休農地ではないが作付を行っていない農地	遊休農地(耕作放棄地)面積	ha	154.	142.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
規格外麦を無料で配布する。	麦の配布数量	kg	6250.	5000.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
雑草繁茂抑制及び土埃飛散防止等の対策を行うことにより、遊休農地の増加を防ぎ、農地が適正に管理され環境が保全される。	麦等の作付けによる農地活用面積	ha	89.6	89.6	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	205	164	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	205	164	0	0	0	0
人件費計(B)	千円	766	983	0	0	0	0	0.18人 0.24人
投入量(A)+(B)	千円	971	1,147	0	0	0	0	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	担い手の不足や高齢化及び農産物価格低迷などにより、遊休農地が増加し、雑草の繁茂や病害虫の発生源並びに土壌飛散による地力の低下等が問題となり、遊休農地の解消が課題となった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	平成25年の農地法改正により、毎年1回の農地利用状況調査の結果、遊休農地となった所有者に農地中間管理機構に貸す意思を確認することなど耕作放棄地状態の発生防止と速やかな解決を図ることとなった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	市民から一人当たりの麦無料配布量を増やしてほしいとの要望がある。							

(4)前回(平成28年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 麦配布とともに人的な支援として農地中間管理機構や利用権設定が広く浸透したため遊休農地が減少した。	(見直し内容に関する予算への反映) <input checked="" type="checkbox"/> 削減(事業費 41千円) (人件費 0千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input type="checkbox"/> 反映なし
--	---	---	--

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊休農地の増加や雑草の繁茂、病虫害の発生源並びに土壌飛散による地力の低下等に歯止めをかけることは、市の農業振興に必要なことであり、市が対策に関与することは妥当である。
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊休農地の解消には生産者の耕作意欲によることも多く、配布量と遊休のうちの解消が必ずしも一致しない。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊休農地の多くを占める畑地の活用という面で、令和元年度より「園芸振興支援事業」に統合した。
	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費及び人件費は必要最低限のものであり、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 遊休農地の増加や雑草の繁茂、病虫害の発生源並びに土壌飛散による地力の低下等に対応する公共性の高い事業であるため、受益者負担を求めることは事業目的にそぐわない。

## 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → [  目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善 ]  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)  
令和元年度より、園芸振興支援事業に統合して事業を実施していく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
次年度から、当該事業は、園芸振興支援事業に統合し実施する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	6	月	4	日
事務事業名	しどりの里管理事業				事業類型	施設の維持管理					
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	廣木 智也							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用									
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 03	事業名 しどりの里管理事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 平成30年4月からしどりの里としてリニューアルオープンした施設の維持管理を行う。那珂野菜の情報発信拠点として那珂市産農産物や農産加工品等のPRを行う。また、静峰ふるさと公園来園者、グラウンドゴルフ及びノルディックウォーキング利用者の集合や打合せ、休憩場所として利用する。						<b>【業務内容】</b> ・平成26年3月末に入浴施設としては閉館 ・平成27年度～平成28年度は、その方向性の具体化に向け検討 ・平成29年度は、施設の有効活用に向けた具体的取組み開始予定 ・平成30年4月リニューアルオープン					

<b>1 現状把握の部(DOシート)</b>											
<b>(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移</b>						単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
<b>①対象</b> (誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			<b>④対象指標</b> (対象の大きさを表す指標)								
旧しどりの湯施設			旧しどりの湯施設	施設	1.	1.	1.	1.	1.	1.	
					0.	0.	0.	0.	0.	0.	
<b>②手段</b> (具体的な事務事業のやり方)			<b>⑤活動指標</b> (事務事業の活動量を表す指標)								
施設の適正な維持管理とイベント等の開催			イベント開催回数	回	6.	6.	7.	7.	7.	7.	
			開館日数	日	0.	302.	310.	310.	310.	310.	
			消防設備保守点検回数	回	1.	1.	1.	1.	1.	1.	
					0.	0.	0.	0.	0.	0.	
<b>③意図する成果</b> (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			<b>⑥成果指標</b> (対象における意図された対象の程度)								
利用者数が増加する			利用者数	人	171.	5286.	5580.	5890.	6200.		
			1日あたり利用者数	人	0.	17.5	18.	19.	20.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
<b>(2) 投入量の推移</b>											
		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費			
事業 内 訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	137	137	137	0			
	一般財源	千円	1,517	4,629	5,626	5,656	5,656	0			
	事業費計(A)	千円	1,517	4,629	5,763	5,793	5,793	0			
人件費計(B)		千円	1,838	2,483	2,483	2,483	2,483	0.38人	2,483	0.38人	
投入量(A)+(B)		千円	3,355	7,112	8,246	8,276	8,276				
<b>(3) 事務事業の環境変化・市民意見等</b>											
<b>①事業を始めたきっかけ</b>			平成6年度に農林水産省の地域農業基盤確立農業改善事業の産地形成促進施設として国庫補助を受け、平成8年度に竣工し、開館した。								
<b>②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?</b>			平成20年度から3年間指定管理者制度により運営を行う。震災により平成23年度は休館し修繕を行い、指定管理料を見直して継続したが、平成25年度末閉館。平成29年度改修を行い再開に向けた事業を展開。								
<b>③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)</b>			平成24年度の事業仕分けにより「不要」と判定され、その後の検討により平成25年度末に閉館。以後、公園内で休める場所、仲間と集える場所、グラウンド・ゴルフ場の受付場所等の再開を望む声が寄せられていた。								

(4) 前回(平成28年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 平成29年度に必要な改修工事を行い、平成30年4月からリニューアルオープンし、公園利用者の休憩スペースやグランドゴルフ、ノルディックウォーキングの受付を行うほか、地産地消の推進を図るイベントとして、料理講習会を開催するなど、利用者の増加と施設の活用場面が広がった。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
--	---	---	---

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である 国庫補助事業により整備した施設であり、耐用年数期間(30年)までは、市が維持管理に必要とすることがある。静峰ふるさと公園魅力向上事業と連携した公園との一体性を作り上げ、施設を適切に維持管理し、市が主体となって事業を実施することが妥当である。 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっているか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 静峰ふるさと公園との一体性を考慮した利活用を進めることで、利用者数の増加を見込める余地がある。 ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない ■ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国庫補助事業により整備した施設のため、令和6年度までに廃止することは難しい。将来的に、静峰ふるさと公園との一体的な利活用及び管理運営をしていく余地がある。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない ■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない ■ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 静峰ふるさと公園との一体的な利活用及び管理運営に移行すれば、委託費及び人件費の削減の余地がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 静峰ふるさと公園内に位置し、レスト機能、コミュニティ機能、クラブハウス機能を担う施設であるため、個別の受益者負担を求めることは適当でない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了     廃止     休止     統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → {  目的の再設定    ■ 有効性の改善    ■ 効率性の改善 }  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)  
しどりの里リニューアルオープン後、初年度利用者数が5,286人となっている。施設を適切な維持管理を進めつつ、静峰ふるさと公園との一体性を持った事業展開を進めることにより、利用者増を図り、将来的には一体的な管理運営についても検討する。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了     廃止     休止     統廃合    ■ 継続 ( ■ 見直し     現状維持 )  
 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
 静峰ふるさと公園との一体性を持った事業展開を進めることにより、更なる利用者の増を図り、将来的には一体的な管理運営についても検討する必要がある。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了     廃止     休止     統廃合     継続 (  見直し     現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了     廃止     休止     統廃合     継続 (  見直し     現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	24	日
事務事業名	土地改良推進事業				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	櫻村 清隆							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	土地改良推進事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 日本型直接支払交付金に関する事務、土地改良事業の調査同意、事業同意、説明会を開催し、事業の推進を図る。						<b>【業務内容】</b> ・多面的機能支払交付金の交付 ・県営事業の調査や事業の同意とりまとめ、説明会等の運営 ・推進地区への負担金の支払い					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
農業振興地域内の農用地	農振農用地面積	ha	2223.	2223.	2203.	2203.	2203.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・県営土地改良事業の推進(新規要望地区の取りまとめ)や事業採択同意の取得等。 ・多面的機能支払制度における活動計画、実施状況、事業成果の確認作業等。 ・負担金及び補助金の申請、支払手続き等。	事業推進地区面積	ha	279.	362.	340.	414.	414.	
	事業推進地区数	地区	4.	6.	6.	7.	7.	
	多面的活動組織数	組織	22.	22.	22.	22.	22.	
	多面的活動農用地面積	ha	898.	898.	920.	920.	920.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
再基盤整備事業の推進を図り、農業の多面的機能の発揮のため地域活動に対して支援する。もって、地域の農地を維持するとともに、担い手への農地集積を後押しする。	事業推進率	%	12.6	12.6	15.4	15.4	15.4	
	多面的活動カバー率	%	40.4	40.4	41.8	41.8	41.8	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	22,324	22,177	21,591	21,591	21,591	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	18,874	16,715	20,926	20,926	20,926	0
	事業費計(A)	千円	41,198	38,892	42,517	42,517	42,517	0
人件費計(B)	千円	8,579	5,410	1,000	5,410	1,000	5,410	1,000
投入量(A)+(B)	千円	49,777	44,302	47,927	47,927	47,927		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	基盤整備後数十年が経過し、施設の改修、効率的、安定的な農業経営の確立が必要となった。農業者の高齢化や耕作放棄地の増加等農村の構造変化に対応した体制の強化や地域の農村環境保全のための活動を支援するため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	農業施設の老朽化、農業者の高齢化や不作付地の増加、後継者不足等の問題が出ている。多面的機能支払制度が法制化され、活動組織が増え、農地や農業施設等の地域資源の維持管理を適切に行なえるようになってきた。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	担い手への土地利用集積を実施するために再基盤整備の要望がある。土地改良施設の維持管理は受益者や地域住民がこれまでも実施してきたものであり、これらに対する支援制度に積極的に取り組みたいとの要望がある。							



(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> 千円) (人件費 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> 千円) (人件費 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</span> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<p><b>① 市関与の妥当性</b>            ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 土地改良推進は事業採択に向けて利害関係が入り組む地元の取りまとめ等を中立的で公の立場の市が中心となって実施すべき事業であり妥当である。 地域の農業施設の維持管理を行政の支援のもと地元が共同して実施することは農業の多面的機能の発揮に望ましいことであり妥当である。
<p><b>② 成果の向上余地</b>            ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 多面的機能支払交付金については、要望地区に対して支援できている。 土地改良推進においては、推進地区に対して事業採択に向けた推進ができている。
<p><b>③ 類似事業との統廃合余地            廃止・休止の可能性</b>            ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。優良農地の維持保全に有効な事業のため、廃止休止はできない。
<p><b>④ 事業費や人件費の削除余地</b>            ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 年度毎の事業費(負担金)は国庫の定めた補助制度に基づいた額となっている。 必要な事務(推進協議会の開催、実施状況の確認、実績の取りまとめ等)を必要最小限の人員で行っている。
<p><b>⑤ 受益者負担の適正余地</b>            ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 多面的機能支払交付金については、国の定めた制度に基づいた負担割合となっている。 土地改良推進においては、基盤整備事業を実施する前段の事業となるため受益者負担を求められない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → 
 目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善  
 公平性の改善
   
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

---

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )  
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
 多面的支払交付金については、全国平均の55%に対し、約28%と半分程度となっていることから、更に実施面積の拡大を図っていく必要がある。

---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

---

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	24	日
事務事業名	局所土地改良事業				事業類型	維持管理					
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	平野 拓見							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	局所土地改良事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 災害等の突発的なものや、経年劣化によって機能に支障が生じた土地改良施設(農道・排水路・溜池)の復旧及び保全・管理を行う。						【業務内容】 機能に支障が生じた土地改良施設に対する地元からの改修要望への対応、被災施設の現場確認。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
災害等により復旧の必要が生じた土地改良施設	災害等により復旧の必要が生じた土地改良施設箇所数	箇所	23	22	25	25	25	
			0	0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
土地改良施設復旧工事	改善箇所数	箇所	23	22	25	25	25	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
土地改良施設の機能を復旧、保管理することにより、安心して安全な農業基盤を確保し、農業に支障なく従事できるようにする。	改善率＝改善箇所数／対象箇所数	%	100	100	100	100	100	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
(2) 投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,272	7,501	10,382	10,454	10,454	0
	事業費計(A)	千円	10,272	7,501	10,382	10,454	10,454	0
人件費計(B)	千円	5,679	4,800	4,800	4,800	4,800		
			1.19人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
投入量(A)+(B)		千円	15,951	12,301	15,182	15,254	15,254	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	整備された土地改良施設に対して機能に支障が生じた時の復旧や維持管理を行う必要があるため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	土地改良施設において老朽化の進んだ施設が多くなってきており、今後の維持管理費が増大していく。ほ場整備事業で多く採用されたコルゲート管について腐食等による陥没が目立ち改修工事の必要性に迫られている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	土地改良施設の維持管理の多くが、これまでは受益者自身の賦役で行なわれてきたが、高齢化や後継者不足のため、補修、除草などについても行政の対応を求める要望が多くなっている。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	

<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> (人件費) 0千円
<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0千円
<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> (人件費) 0千円
<input type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	

### 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	有効性評価	効率性評価	公平性評価
<b>① 市関与の妥当性</b> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<b>② 成果の向上余地</b> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<b>④ 事業費や人件費の削減余地</b> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？
<b>■ 妥当である</b> 市や改良区において管理箇所を決めており、市が管理する箇所についての整備補修は妥当である。	<b>■ 余地がない</b> 破損箇所の影響で生じていた問題が修繕により概ね解消されている。	<b>■ 事業費の削減余地がない</b> <b>■ 人件費の削減余地がない</b> 既に低コストで最大の効果を生み出す施工を進めている。一部は委託し事業を行っている。	<b>□ 適正である</b> <b>■ 受益者負担を求める事業ではない</b> 市で管理している農業用施設の保全・修繕であるので、受益者に対して負担を求めるものではない。
<b>□ 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</b>	<b>□ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</b>	<b>□ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</b> <b>□ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</b>	<b>□ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</b>

### 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善
--	--

現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持	○	×
	低下	×	×

改革・改善による期待成果

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了     廃止     休止     統廃合     継続 (  見直し     現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入)

経年劣化が進む中、土地改良基盤を適正に管理するため、また、長寿命化を図るため、まずは、現状の把握と(災害等を想定した)将来的な年次計画のもと、適正な保全・管理に努める必要がある。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了     廃止     休止     統廃合     継続 (  見直し     現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了     廃止     休止     統廃合     継続 (  見直し     現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	24	日
事務事業名	那珂川沿岸農業水利事業				事業類型	負担金・補助金		点検日	年	月	日
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	櫻村 清隆							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	那珂川沿岸農業水利事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成23年度～令和6年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂川沿岸受益者の安定的な農業用水を提供するため国営事業、県営事業により施工する、ダム、揚水機場、用水路等土地基盤整備事業費の一部を負担する。						【業務内容】 事業の推進及び事業費負担金として、施設整備費等の応分の負担金を支出する。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
国営事業(那珂市対象受益地)	推進すべき受益地面積	ha	239.	239.	239.	239.	239.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
国営事業に係る事業費等の負担金を支払い、基幹となる施設整備を促進する。	負担金支払進捗率	%	50.67	57.95	65.17	72.4	79.63	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
那珂川流域の農業の活性化 農業用水を確保し、農業生産性を向上させ、農業経営を安定させる。	事業進捗率	%	73.	74.6	77.	80.	83.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	11,550	11,662	11,437	11,741	11,741	137,393
	事業費計(A)	千円	11,550	11,662	11,437	11,741	11,741	137,393
人件費計(B)	千円	5,501	5,260	5,260	5,260	5,260		
			1.03人	1.00人	1.00人	1.00人		
投入量(A)+(B)	千円	17,051	16,922	16,697	17,001	17,001		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	那珂川沿岸地区は水田や畑で用水不足のうえ、ほ場が狭小で、水利施設も老朽化していたため、平成4年より那珂川、御前山ダムに水源を求める国営事業を開始。それに伴い基盤整備を実施し農業経営の安定化をはかる。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	農業、農村をとりまく情勢は高齢化や後継者不足等変化している。国に対し県・関係市町村は、関連事業と十分に調整を図り効果が発現が遅れないよう要望しているが、関係機関との調整等が難航し事業は長期化している。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	受益者からは早期完了が望まれているが、国営事業で工事が広範囲のため、地元との調整に期間を要すること、予算の措置の関係で事業進捗が遅れている。							

<b>(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>									
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)							
	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)								
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</td><td>千円</td></tr></table> ) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円								
0	千円								
0	千円								
0	千円								

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 市関与の妥当性</b> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではありませんか？ ●市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業採択に向けた地元の取りまとめ等を中立的で公の立場の市が中心となり実施することは妥当である。
有効性 評価	<b>② 成果の向上余地</b> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国営事業は当初の予定より進捗が遅れているが、御前山ダムの竣工や揚水機場の新設・改修など着実に進められている。
	<b>③ 類似事業との統廃合余地</b> 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国営事業が基盤となっているので、統廃合、廃止・休止はできない。
効率性 評価	<b>④ 事業費や人件費の削減余地</b> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 年度の事業費(負担金)は関係市町村で負担割合が決まっているので、削減できない。
公平性 評価	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 国県市が中心となって進める事業であるので、受益者負担は求めない。

**3 計画の部(PLAN)**

**(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)** ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) →  目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善  
 公平性の改善  
→  現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

		改革・改善による期待成果		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

**(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))** ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)

農業用水の安定的な確保・供給に資するため、引き続き県営事業に対する負担金を交付し、土地基盤の整備を行っていく必要がある。

**(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))**

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

**(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)**

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	24	日	
事務事業名	土地改良基盤整備事業				事業類型	工事						
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備G	記入者氏名	畔野 朋哉								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	5 生産基盤の整備と保全										
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	土地改良基盤整備事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 農業農村の振興を図るために、土地改良事業(田畑基盤整備、農道、かんがい排水、溜池等)の新規及び再整備を行う。また、県営事業(農道、かんがい排水路、区画整理、排水機場、農業活動拠点施設)で行う事業費の一部を負担する。						【業務内容】 ①地元からの要望・陳情を採択 ②実施計画への計上 ③補助の手法手続き ④補助事業の採択後に実施設計 ⑤借地契約及び工事説明会 ⑥工事等						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
農業振興地域の農用地で基盤整備未実施面積 農業用施設(排水路、溜池)で改修が必要な箇所	農用地面積	ha	2446.	2446.	2446.	2446.	2446.	
	排水路・溜池(再)整備箇所	箇所	310.	310.	310.	310.	310.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
①事業内容についての検討(県、改良区等との打合せ他)	農用地整備面積	ha	1925.	1925.	1925.	1925.	1925.	
②法的な同意等の手続き(調査、説明会実施、同意取得、議会承認等)	排水路単年度(再)整備延長	m	842.5	1038.3	950.	1655.	1887.	
③実施設計委託、工事等	排水路横断(再)整備箇所	箇所	7.	3.	3.	3.	3.	
	溜池(再)整備箇所	箇所	1.	1.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
農用地における環境整備を行うことにより、排水路整備による乾田化や溜池整備による用水の安定供給ができ、農地の耕作利便性が向し、農業生産基盤の強化になる。	農用地整備率	%	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7	
	排水路単年度(再)整備率	%	100.	100.	100.	100.	100.	
	排水路横断(再)整備済箇所	箇所	185.	188.	191.	194.	197.	
	溜池(再)整備済箇所	箇所	37.	37.	37.	37.	37.	
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	28,925	34,285	14,407	17,080	17,462	0
	地方債	千円	13,800	11,400	15,500	40,500	40,500	0
	その他	千円	0	0	25,000	0	0	0
	一般財源	千円	71,139	68,752	37,106	72,820	78,052	0
	事業費計(A)	千円	113,864	114,437	92,013	130,400	136,014	0
人件費計(B)	千円	5,679	6,110	6,110	6,110	6,110	6,110	6,110
	1.19人	1.20人	1.20人	1.20人	1.20人	1.20人		
投入量(A)+(B)	千円	119,543	120,547	98,123	136,510	142,124		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	土地改良施設に対する地元団体(土地改良区等)や受益者からの要望による。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	国、県の予算措置が要望額どおりにつかず、事業費が増大する傾向にある。受益者の高齢化により農地、農業施設の管理不十分となり、耕作放棄地が増加する問題がある。土地改良法改正により、環境配慮した整備が義務化された。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	早期の事業竣工や新たに事業として採択を望む声がある。(年度予算への要望)							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか? また、取り組み後どのように変わりましたか? 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか?	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input style="border: 1px dashed black;" type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input style="border: 1px dashed black;" type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input style="border: 1px dashed black;" type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input style="border: 1px dashed black;" type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか? ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか? ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか?	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 県、市がそれぞれの管理区や役割を決めて整備を進めており、市としての整備箇所は明確である。農業用排水路については概ね市で担う必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか? ●成果が一部の対象者に限定されていませんか? ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか?	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 優先的に破損のひどい箇所を随時改修を行っていくことで、問題点が解消され、排水流域全体の受益地における排水機能が回復されており、向上余地はない。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか? ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか?	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業施設において老朽化、破損箇所、排水機能が低下した箇所を随時整備している。維持管理についても局所土地改良事業にて計上しており、本事業は改修を担っているため、類似事業はなく、統廃合の余地はない。又、随時利用されているものなので老朽化することから廃止・休止は難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか? ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか? ●事業目的にそぐわない支出はありませんか?	■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 既に低コストで最大の効果を生み出す施工を進めている。一部は委託し事業を行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか? ●受益者負担を求めず事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか?	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市で管理している農業用施設の改修であるため受益者に対して負担を求めない。基盤整備については面整備を行うため受益者負担はあるが、国県の定められた補助制度に基づいた負担割合である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																					
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )																							
改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 農業の生産性向上、農業構造の改善に資するため、今後も土地改良基盤の整備を、年次計画的に行っていく必要がある。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	24	日	
事務事業名	経営所得安定対策事務費				事業類型	団体補助	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備グループ	記入者氏名	齋藤 郁								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	2 安全な食料の安定供給										
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	08	事業名	経営所得安定対策事務費	根拠法令	米政策改革基本要綱	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 経営所得安定対策の周知及び米の消費拡大のPRを実施する。						【業務内容】 経営所得安定対策制度のもと、米の需給調整の円滑な実施を促し米価と農業経営の安定を図るため、制度の周知及び制度実施にかかる事務を担う市農業再生協議会への運営費補助を行う。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水稲生産農家	水稲生産農家戸数	戸	3832.	3949.	3950.	3950.	3950.	
	水田総面積	ha	1910.	1900.	1900.	1900.	1900.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
経営所得安定対策制度の周知のため、全農家へパンフレットを配布し、地区説明会、転作団地組合で説明を行う。 また、経営所得安定対策の事務を行う市農業再生協議会に対し、運営費補助を行う。	転作面積(休耕地含み)	ha	507.	510.	510.	510.	510.	
	説明会開催数	回	5.	5.	5.	5.	5.	
	計画書提出件数	件	1541.	1607.	1650.	1650.	1650.	
	市農業再生協議会への運営費補助	千円	7582.	19975.	7540.	7540.	7540.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
需給調整を図り、水稲作付可能な生産数量目標の達成をもって農業経営の安定化を図る。	水稲作付率=(実施水稲作付面積/計画水稲作付面積)	%	117.2	118.	118.	118.	118.	
	米価(コシヒカリJA米紙袋1等)	円 /30kg	6800.	6850.	6500.	6500.	6500.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	6,982	19,375	6,940	6,940	6,940	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	786	734	779	779	779	0
	事業費計(A)	千円	7,768	20,109	7,719	7,719	7,719	0
人件費計(B)	千円	5,879	4,790	3,940	3,940	3,940	0.80人	0.80人
投入量(A)+(B)	千円	13,647	24,899	11,659	11,659	11,659		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	米の過剰生産を調整するため水稲生産農家を対象に減反を推進していた。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	経営所得安定対策制度は生産した数量に対しての保障制度である。米の所得補償対象者は、生産数量目標達成者であるため平成17年度より戸別推進がなくなった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	生産調整事業の実施によって、平成26年の価格下落を底に価格が持ち直し、経営の安定につながっている。							



(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 経営所得安定対策制度は、農業経営の安定を図る制度であり、制度の運営には、地域の農家に近く公平性がある市が妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水稻生産農家全体に十分周知され、実施されている。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の事業で類似しているものはない。主食米の生産調整を目的としている事業であり、廃止・休止すると成果が大きく低下してしまう。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最小限の事務を行っており、人件費の削減余地はない。事業費はほとんどが補助金であり、削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 全国的に生産調整を推進しているため、個々の農業者に対して負担を求めることはそぐわない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了  廃止  休止  統廃合  
 継続 →  見直し(改革・改善) → {  目的の再設定  有効性の改善  効率性の改善 }  
 {  公平性の改善 }  
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			⊗
	低下			⊗

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )  
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了  廃止  休止  統廃合  継続 (  見直し  現状維持 )

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	24	日	
事務事業名	経営所得安定対策奨励補助事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備グループ	記入者氏名	齋藤 郁								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	2 安全な食料の安定供給										
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	08	事業名	経営所得安定対策奨励補助事業	根拠法令	米政策改革基本要綱	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 転作団地を中心とする生産性及び品質の向上を目指した転作実施者に対して、市転作補助金を交付し、米の生産調整の円滑な推進を図る。						<b>【業務内容】</b> 農業者が作成する営農計画書に基づき現地確認を実施し、生産数量目標(転作割合:R元年度は38%)を達成した農家に対して転作作物や面積等に応じて補助金を交付する。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水稲生産農家	水稲生産農家戸数	戸	3832.	3949.	3950.	3950.	3950.	
	水田総面積	ha	1910.	1900.	1900.	1900.	1900.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
現地確認結果に基づく転作実施内容及び地域の活動状況に応じて転作奨励補助金を交付する。	補助金交付件数	件	914.	814.	820.	820.	820.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
農家自らが生産調整のための転作に主体的に取り組むことにより農業経営の安定を図る。	生産調整実施面積	ha	501.	507.	510.	515.	520.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	53,663	54,251	53,100	55,000	57,000	0
	事業費計(A)	千円	53,663	54,251	53,100	55,000	57,000	0
	人件費計(B)	千円	5,879	6,100	5,250	5,250	5,250	1,000
	投入量(A)+(B)	千円	59,542	60,351	58,350	60,250	62,250	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	昭和53年から米の生産調整(減反)政策、平成23年度からは農業者戸別所得補償制度が実施され、平成25年度から経営所得安定対策制度に名称が変更になった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	これまでの米の減反政策に代わって、水田を活用して麦・大豆・そば・飼料用米・新規需要米等の戦略作物を推奨し、食糧自給率の向上を目指す施策となった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	水稲以外の作物の生産を増加させるには、圃場の維持管理や整備等が重要である。また、最近の異常気象等による単収低下及び品質低下が顕著で、これらの克服が課題となっている。							



評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	4	日
点検日					年						
事務事業名	農地中間管理事業			事業類型	事業の推進						
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興	記入者氏名	小田倉 翔						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり							
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る							
	基本事業名			4 担い手による農業の展開							
予算科目	一般会計	款	項	目	事業名	根拠法令	農地中間管理事業の推進に関する法律				
		05	01	03	農地中間管理事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 農地中間管理事業の推進に関する法律(平成26年3月1日施行)により農地集積・集約化の促進を行う。 農林振興公社が茨城県の農地中間管理機構となり、業務委託により市へ委託され、関連する窓口業務及び手続きを行う。 農地中間管理事業は、所有者(出し手)が耕作しなくなっている農地を中間管理機構へ管理権を設定し、機構から担い手(借り手)へ利用権設定で貸し出すことで、農地の貸借を促進し、農地の集積・集約を図る。						【業務内容】 担い手の公募、農地出し手の掘り起こし、農地集積の推進、協力金(補助金)の交付手続き、その他関連する窓口業務					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
				単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市内農地及び担い手となる農家				農地面積(市街化区域を除く)	ha	4334.	4331.	4331.	4331.	4331.	
				認定農業者数	人	87.	84.	89.	92.	92.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
農地の貸付、借受の情報登録及び受付 各種機会を通じての事業内容等の周知活動				マッチング筆数	筆	291.	279.	300.	300.	300.	
				借受希望者数(担い手)	人	60.	70.	75.	78.	80.	
				貸付希望農地	筆	235.	298.	350.	350.	350.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
担い手への農地利用集積により、農業経営の生産性が向上する。				担い手の集積面積	ha	835.	847.	860.	870.	880.	
				農地中間管理事業での集積面積	ha	121.5	150.	200.	200.	200.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移											
		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	1,302	1,475	2,300	2,300	2,300	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	1,994	2,059	2,347	2,406	2,406	0			
	一般財源	千円	145	156	167	72	72	0			
事業費計(A)		千円	3,441	3,690	4,814	4,778	4,778	0			
人件費計(B)		千円	1,815	1,778	1,778	1,778	1,778	1,778	1,778	0.32人	
投入量(A)+(B)		千円	5,256	5,468	6,592	6,556	6,556				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			農業経営規模の拡大、農地の集団化、農業への参入の促進等による農用地利用の効率化及び高度化の促進を図り、農業の生産性の向上を目的とした「農地中間管理事業の推進に関する法律」が施行されたため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			平成26年度から事業が開始されたが、PR効果もあり事業内容については農家等に浸透してきている。農地の貸借においては、利用権設定からの切り替えが進み、農地中間管理事業による農地集積も増えてきている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			農業従事者の高齢化等に伴って農地の貸付希望が多い状況となっており、実情を把握し反映させ、貸付希望者と借受希望者のマッチングによる農地の集積が求められている。								

(4)前回(平成28年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(見直し内容に関する予算への反映)				
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 農地所有者及び担い手に意向調査を実施した結果、マッチングに成功した農地が増えたため、有効であった。				
		<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	0	0	0
0						
0						
0						
0						

### 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価  有効性 評価  効率性 評価  公平性 評価	<b>① 市関与の妥当性</b> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はありますか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の政策事業であり、市が窓口になることで地域の貸し手、借り手にとって手続き上の利便性があることや地域の実情に合わせた集積・集約を実現できることから、妥当である。
	<b>② 成果の向上余地</b> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農地所有者のニーズ把握を有効に活用し、貸し手と借り手の双方の事情に対応することで、更なる農地集積が見込まれる。
	<b>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</b> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の政策として農地貸借制度を進める事業であるため、統廃合や廃止・休止の可能性はない。
	<b>④ 事業費や人件費の削減余地</b> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 貸付に関する事務や、農地の貸付希望者が年々増加しており、一人あたりの窓口対応も多くの時間を要する。よって、人件費削減の余地はない。なお、事業費として事業推進の補助金と臨時職員の賃金が県から交付される。
	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 国の政策として農用地の利用の効率化と高度化の促進を図り、農業の生産性を向上させることが責務として法律で定められている事業であり、受益者の負担は相応でない。

### 3 計画の部(PLAN)

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)																						
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善																							
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 担い手に対し意向調査を行い、規模拡大予定の有無や借りたい農地の上限などを把握した上で、希望する農地を紹介することで、より多くの農地を担い手に繋げる。成立していない貸付希望農地については、申出者に条件等を見直してもらうことで、マッチングに繋げる。																							
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	※担当部長が記載																						
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 担い手に対し意向調査を行い、規模拡大予定の有無や借りたい農地の上限などを把握した上で、希望する農地を紹介することで、より多くの農地を担い手に繋げる。成立していない貸付希望農地については、申出者に条件等を見直してもらうことで、マッチングに繋げる。																							
<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							
<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	6	月	5	日																																																																																																																									
事務事業名	6次産業化推進事業			事業類型	事業の推進																																																																																																																															
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ	記入者氏名	薄井 享																																																																																																																															
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり																																																																																																																																
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る																																																																																																																																
	基本事業名			1 農業経営の発展																																																																																																																																
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名		6次産業化推進事業		根拠法令																																																																																																																								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)																																																																																																																												
<b>事業概要</b>																																																																																																																																				
<b>【全体概要】</b> 特色ある那珂市農業の6次産業化、販売戦略の構築及び新たな食の流通等のアグリビジネスを積極的に展開し、農業所得の向上と地域農業の活性化を図る。 新食品素材である米ゲル製品開発及び販路拡大を支援し、農家所得の向上と消費拡大を図る。 ほしいもやドライトマトなどの加工品開発による農家所得向上への取り組み支援を行う。						<b>【業務内容】</b> 6次産業化推進に係る各種取り組みの推進 ①米ゲル製品化の推進 ・6次産業化等産品販路支援事業 ②農産物の加工による農家所得向上への取り組み支援 ・ほしいも、ドライトマトなど ③米粉パン、米の特殊加工技術等の穀物を使用した加工食品を学校給食に提供し、原材料費の差額を負担する。																																																																																																																														
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																																				
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>29年度 (実績)</th> <th>30年度 (実績)</th> <th>01年度 (見込)</th> <th>02年度 (計画)</th> <th>03年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="6">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内農産物を使用して産品開発をする取組業者</td> <td>事業所</td> <td>10.</td> <td>10.</td> <td>12.</td> <td>12.</td> <td>12.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="6">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○米ゲル技術を活用した産品開発の支援及び販路拡大支援</td> <td>米ゲルを活用した開発数</td> <td>品</td> <td>11.</td> <td>12.</td> <td>15.</td> <td>15.</td> <td>15.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○農産物加工品開発に取り組む農家への支援</td> <td>その他農産物を活用する商品の開発数</td> <td>品</td> <td>47.</td> <td>50.</td> <td>53.</td> <td>53.</td> <td>53.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○給食への米粉パン提供</td> <td>ほしいも協議会加入農家数</td> <td>経営体</td> <td>27.</td> <td>27.</td> <td>30.</td> <td>30.</td> <td>30.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="6">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○那珂市産の新規需要米「モミロマン」から作った「米ゲル」を活用した産品開発数の増加</td> <td>米ゲルを活用した商品数</td> <td>品</td> <td>10.</td> <td>10.</td> <td>12.</td> <td>12.</td> <td>12.</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○市内農産物を使用した商品の開発により、消費の拡大と農業の振興が図られる</td> <td>農産物の加工に取り組む経営体数</td> <td>経営体</td> <td>47.</td> <td>50.</td> <td>53.</td> <td>53.</td> <td>53.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>フェルミエ那珂加入経営体数</td> <td>経営体</td> <td>28.</td> <td>41.</td> <td>45.</td> <td>45.</td> <td>45.</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> <td>0.</td> </tr> </tbody> </table>															単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)						市内農産物を使用して産品開発をする取組業者		事業所	10.	10.	12.	12.	12.				0.	0.	0.	0.	0.	②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						○米ゲル技術を活用した産品開発の支援及び販路拡大支援		米ゲルを活用した開発数	品	11.	12.	15.	15.	15.	○農産物加工品開発に取り組む農家への支援		その他農産物を活用する商品の開発数	品	47.	50.	53.	53.	53.	○給食への米粉パン提供		ほしいも協議会加入農家数	経営体	27.	27.	30.	30.	30.					0.	0.	0.	0.	0.	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						○那珂市産の新規需要米「モミロマン」から作った「米ゲル」を活用した産品開発数の増加		米ゲルを活用した商品数	品	10.	10.	12.	12.	12.	○市内農産物を使用した商品の開発により、消費の拡大と農業の振興が図られる		農産物の加工に取り組む経営体数	経営体	47.	50.	53.	53.	53.			フェルミエ那珂加入経営体数	経営体	28.	41.	45.	45.	45.					0.	0.	0.	0.	0.
		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)																																																																																																																													
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																																		
市内農産物を使用して産品開発をする取組業者		事業所	10.	10.	12.	12.	12.																																																																																																																													
			0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																													
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																																		
○米ゲル技術を活用した産品開発の支援及び販路拡大支援		米ゲルを活用した開発数	品	11.	12.	15.	15.	15.																																																																																																																												
○農産物加工品開発に取り組む農家への支援		その他農産物を活用する商品の開発数	品	47.	50.	53.	53.	53.																																																																																																																												
○給食への米粉パン提供		ほしいも協議会加入農家数	経営体	27.	27.	30.	30.	30.																																																																																																																												
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																												
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																																		
○那珂市産の新規需要米「モミロマン」から作った「米ゲル」を活用した産品開発数の増加		米ゲルを活用した商品数	品	10.	10.	12.	12.	12.																																																																																																																												
○市内農産物を使用した商品の開発により、消費の拡大と農業の振興が図られる		農産物の加工に取り組む経営体数	経営体	47.	50.	53.	53.	53.																																																																																																																												
		フェルミエ那珂加入経営体数	経営体	28.	41.	45.	45.	45.																																																																																																																												
				0.	0.	0.	0.	0.																																																																																																																												
(2) 投入量の推移																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>01年度(見込)</th> <th>02年度(計画)</th> <th>03年度(計画)</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業内 費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>738</td> <td>1,148</td> <td>1,823</td> <td>1,623</td> <td>1,623</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>738</td> <td>1,148</td> <td>1,823</td> <td>1,623</td> <td>1,623</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>3,280</td> <td>3,030</td> <td>3,030</td> <td>3,030</td> <td>3,030</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>0.59人</td> <td>0.51人</td> <td>0.51人</td> <td>0.51人</td> <td>0.51人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>4,018</td> <td>4,178</td> <td>4,853</td> <td>4,653</td> <td>4,653</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	その他	千円	0	0	0	0	0	0	一般財源	千円	738	1,148	1,823	1,623	1,623	0	事業費計(A)	千円	738	1,148	1,823	1,623	1,623	0	人件費計(B)		千円	3,280	3,030	3,030	3,030	3,030					0.59人	0.51人	0.51人	0.51人	0.51人		投入量(A)+(B)		千円	4,018	4,178	4,853	4,653	4,653																																				
		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費																																																																																																																												
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																												
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																												
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																												
	その他	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																																												
	一般財源	千円	738	1,148	1,823	1,623	1,623	0																																																																																																																												
	事業費計(A)	千円	738	1,148	1,823	1,623	1,623	0																																																																																																																												
人件費計(B)		千円	3,280	3,030	3,030	3,030	3,030																																																																																																																													
			0.59人	0.51人	0.51人	0.51人	0.51人																																																																																																																													
投入量(A)+(B)		千円	4,018	4,178	4,853	4,653	4,653																																																																																																																													
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																																				
①事業を始めたきっかけ																																																																																																																																				
食品添加物や油分を減らしたり風味を豊かにする効果がある先進食品素材「米ゲル」を活用した産品開発を支援することで、米の消費拡大と農業の6次産業化をととした農業の振興を図ることができること。																																																																																																																																				
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?																																																																																																																																				
海外産の小麦を原料としたパンや麺類などの消費量が増え、国内産米の消費量は全国的に減少傾向である一方、食の安全志向による地産地消、アレルギー対策、食品添加物への関心の高まっている。																																																																																																																																				
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)																																																																																																																																				
米ゲル製品の風味や食感の良さを評価する声が寄せられている。また、業者からは加工のしやすさや日持ちの良さが評価されているほか、遠方からの問合せもあるなど市への入込客数の増加を期待する声も寄せられている。																																																																																																																																				

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	米ゲルの認知及び販路拡大のため、市商工会及び産品開発取組業者と協力し、市内外の各種イベントで米ゲル製品の販売や試食を行い、周知を積極的に行った。また、三ツ星認定ほしほ農家による高級ほしほもEPISODE XⅢの商品開発を支援し、それに伴うパッケージの検討やイベントでのPRを行った。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 基幹産業である農業を担う農家の所得向上を目的として市が6次産業化推進事業により支援することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 取組み意欲がある者に専門的な知識や情報提供、マッチングなどを行うことにより、成果向上の予知がある。米粉パンの提供によってどれだけ児童生徒が「米」を食べているという認識を持てるかということと、当該事業の成果について再検証する。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業の6次産業化に取り組む事業として類似の事業はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費及び人件費は必要最低限であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 加工の現場においては、保健所の指導に適合した施設の整備や原材料費は自己負担であることから、適正である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 米ゲルを活用した産品開発数を増やすため、引き続き開発支援を行うとともに、ほしほもやドライマトの生産など新たな加工に取り組む農業者を支援していく。 いい那珂マルシェをはじめ、各種イベントにPRブースへの出展を後押しし、内外部者へ認知されるよう取り組みを進める。米粉パンの提供による事業成果について検証する。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 今後も、米ゲルの産品開発・販路拡大を支援するとともに、ほしほもやドライマト等の加工品開発に取り組む農業者の支援を継続的に行っていくことで、農業者の安定的な経営・所得向上を図る必要がある。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	24	日
事務事業名	中小企業振興対策事業				事業類型	負担金・補助金	点検日		年		月
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	寺門 賢一							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり									
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る									
	基本事業名	1 商業の振興									
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	02	事業名	中小企業振興対策事業	根拠法令	那珂市中小企業事業資金融資制度信用保証
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
事業概要											
【全体概要】						【業務内容】					
自治金融・振興金融制度の利用者に対し、信用保証料及び利子の補給を行うことで、中小企業者の金利負担を軽減し、制度の利用効果を高める。また、市中小企業労働者共済会の会員が各種資金の融資を受けた際、信用保証料の補給を行い、中小企業労働者の金利負担を軽減し、円滑な資金調達の支援を図る。創業支援事業計画に基づき、創業のために必要な資金の融資を受けた方に対し補助金を給付し、創業時の資金繰りを支援する。						中小企業経営者や中小企業労働者への補助金交付事務 計 9,837,348円 ・信用保証料補助(自治+振興)7,425,384+0=7,425,348円 ・利子補給(自治+振興)2,412,000+0=2,412,000円 ・信用保証料補助(共済会) 0円 ・信用保証料返戻金(自治+振興)0円					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
				単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
・市内中小企業の経営者・市内在住の中小企業労働者				事業所数(経済センサス/H26基礎調査)	箇所	2009.	2009.	2009.	2009.	2009.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・自治金融、振興金融の融資斡旋委託 ・(自治・振興)信用保証料補助及び利子補給 ・(共済会)信用保証料補助				斡旋件数(自治・振興金融制度)	件	54.	63.	63.	63.	63.	
				信用保証料補助金(自治・振興金融制度)	千円	5629.	7362.	7362.	7362.	7362.	
				利子補給額(自治・振興金融制度)	千円	2042.	2412.	2412.	2412.	2412.	
				信用保証料補助額(中小企業労働者共済会融資制度)	千円	0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市内中小企業の経営安定化及び市内在住中小企業労働者の福祉向上を図り、地域経済の発展につなげる。				貸付件数(自治・振興金融制度)	件	54.	62.	62.	62.	62.	
				年間商品販売額(H26商業統計調査)	万円	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	
				製造品出荷額等(従業者4人以上)	万円	5079690.	5079690.	5079690.	5079690.	5079690.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移											
		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費			
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,019	955	480	480	480	480	0	0	
	一般財源	千円	6,653	8,819	14,606	11,906	11,906	11,906	0	0	
	事業費計(A)	千円	7,672	9,774	15,086	12,386	12,386	12,386	0	0	
人件費計(B)		千円	1,850	2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	
投入量(A)+(B)		千円	9,522	12,364	17,676	14,976	14,976	14,976	14,976	14,976	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			昭和59年6月制定の「那珂市中小企業事業資金融資あっ旋規則」に基づく「自治金融・振興金融制度」の利用効果向上を図るため、市内中小企業の経営者に対する支援を開始した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			県内の景気情勢は、緩やかな回復傾向にあるが、人手不足に伴う賃金上昇や経営者の高齢化に伴う事業承継問題などにより、中小企業を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況にある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			自治金融・振興金融制度は、他制度と比較して融資申込から貸付決定に要する期間が長い。資金調達の迅速性にやや欠ける面があり、利用者数の伸び悩みの一因となっているのではないか(那珂市商工会事務局)								



(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	経営に関し商工会が主となり、指導・相談を行っており、制度についても周知を行っている。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0千円 (人件費) 0千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 中小企業に補助金を支出し金利負担の軽減及び事業資金調達の円滑化を支援することは、中小企業の事業活動の維持及び活性化を促進する上で必要であり市関与については妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 中小企業労働者共済制度はまだ十分に認知されていない面があるため、商工会や金融機関と連携しながら企業に対し周知を行って利用促進を図っていく必要がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合の余地がない。また中小企業を取り巻く情勢は依然として厳しいため、事業の廃止・休止は企業の事業資金調達に影響が出る可能性が高い。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 制度利用の実施に応じて補助金額が決まるので、成果と事業費は比例するため成果を下げずに事業費の削減余地がない。制度紹介斡旋事務は那珂市商工会に委託している。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 制度利用者は、必要経費である手数料を自己負担していることから、適正である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																									
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 制度の利用促進を図るために、関係機関と連携してPRIに努める。		改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持																								
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市商工会、企業支援コーディネーターと連携し、制度の利用促進を図ることで、中小企業を今後も支援していく必要がある。																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																									
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																									

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	28	日	
事務事業名	商工会補助事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	寺門 賢一								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る										
	基本事業名	1 商業の振興										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	02	事業名	商工会補助事業	根拠法令	那珂市商工会事業費補助金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 中小企業者の経営改善及び近代化・合理化を図るため、那珂市商工会に対し補助を行い、各種指導・相談業務の強化を支援し、中小企業の活性化を促進する。						【業務内容】 那珂市商工会への補助金交付事務 ・事業費補助						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・市内中小企業の経営者(商工会員)	事業所数(経済センサス調査/基礎調査)	箇所	2009.	2009.	2009.	2009.	2009.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・運営補助及び斡旋委託(人件費補助、事業費補助)	商工会会員数	名	1092.	1087.	1087.	1087.	1087.	0.	0.	
	商工会支部・部会等事業開催回数	回	45.	49.	49.	49.	49.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
・経営の改善及び近代化、合理化を図る ・競争力の向上を図る ・地域雇用の創出、安定化を図る	金融斡旋事業(貸付件数)	件	143.	129.	129.	129.	129.	0.	0.	
	指導及び相談件数	件	2135.	2000.	2000.	2000.	2000.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費			
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	0	
	事業費計(A)	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	0	
人件費計(B)	千円	1,560	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	0.28人	
投入量(A)+(B)	千円	14,560	14,160	14,160	14,160	14,160	14,160	14,160	0.20人	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ	商工会の活動をより活性化させることで、市内中小企業者の振興を図ることができる。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、商工会の会員数の減少等により財政運営は厳しくなっており、県商工会連合会への人事一元化による正規職員数の適正化や積立金等の取り崩しによる財政確保など、一層効率的な団体運営に努めている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	商工業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)									

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 商工業の発達を通じて、地域社会に貢献する役割は非常に大きい。また、市商工業振興計画に基づく施策事業の実施主体になっているため、市関与については妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市商工業振興計画に基づく各施策を商工会が中心となり商工業者と共に取り組むことで、地域商工業の振興及び地域経済の活性化が図れる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合の余地はない。また、市商工業振興計画に基づく各施策の実施主体として団体の役割が大きいため、事業廃止や休止した場合の影響は大きい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の財政状況や商工会事業の実施状況を踏まえる必要はあるが、市内中小企業の活性化を支援・指導する団体への補助事業であるため事業費削減は望ましくない。最小限の人員で複数の事業を行っており、人件費削減の余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 運営補助から事業費補助に見直している。会員は年会費を自己負担している。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 那珂市の商工業振興の中心的役割を担う組織の事業に対し補助する事業であることから、那珂市商工業振興計画に基づく施策実施に向け内容をより精査し、連携を図りながら商工業振興に努める。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 那珂市の商工業振興の中心的役割を担う市商工会と更なる連携・強化を図ることにより、那珂市の産業活性化を企業支援コーディネーターとともに支援していく必要がある。 また今後、創業支援のための事務所等を商工会に整備することで、テレワークの推進を着実に進めていく必要がある。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	28	日	
事務事業名	がんばる商店街支援事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	寺門 賢一								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る										
	基本事業名	1 商業の振興										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	02	事業名	がんばる商店街支援事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>												
<b>【全体概要】</b> 意欲的な商業者団体等の取り組みへの支援を行い、個店の魅力及び競争力の向上やまちなかの賑わい創出を図るとともに、その成果を他へ波及させ、商業者全体の底上げを図る。						<b>【業務内容】</b> 那珂市商工会や市内商業者・任意団体等に対する補助金交付事務 ・補助率 市:1/3(ただし上限額 500,000円)、事業主体:2/3 ・補助期間 :1年間(最大3年間まで継続可能)						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内商業者(卸売業・小売業・サービス業・飲食業)の団体	事業所数(経済センサス調査／基礎調査)	箇所	958.	958.	958.	958.	958.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・意欲的な取組に対して資金補助を行い支援する。(事業費補助)	商業活性化事業取組団体数	団体	1.	1.	1.	1.	1.
	商業活性化イベント開催回数	回	0.	6.	6.	6.	6.
	補助件数	件	0.	0.	1.	1.	1.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・個店の店舗力(商品力・サービス力)を強化し、来店者数や売上高の回復・増加を図る。・意欲的な商業者による取組み拡大により、市内外からの来街者数を増加させ、地域商業の活性化を図る。	年間商品販売額(H26商業統計調査)	万円	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.
	商工会員数の内、商業部会員数(卸売業、小売業)	名	241.	239.	239.	239.	239.
	商工会員数の内、サービス部会員数(飲食業、サービス)	名	362.	349.	349.	349.	349.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	250	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	250	500	500
	事業費計(A)	千円	0	0	500	500	500
人件費計(B)	千円	1,105	0.18人	930	0.20人	930	0.20人
投入量(A)+(B)	千円	1,105	930	1,430	1,430	1,430	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市には商店街の形成がなく、商店街を中心とした活性化策が機能しないため、個店の魅力及び競争力を向上させる施策として、分散型商業地域でも効果を期待できる「一店逸品事業」に取り組むこととなった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	市内の小売業者は、大規模小売店舗等の市内・近隣地域への出店等の影響により、減少傾向が顕著である。また、商業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、依然として復調の兆しを見出せていない。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	商業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 類似性のあった産品開発事業を令和1年より廃止とし、本事業は継続とした。事業者のニーズに合う事業内容を模索したが、日程や予算の調整が図れなかった。早期事業計画の提出を促した。 (見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市商業者の活性化を実施する上で、補助金を支出することは効果的であるため、市関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ITスキルアップ等事業者からニーズが見込める事業での利用を促す。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似性のあった産品開発事業を、令和1年より本事業と統合的に廃止としたため、さらなる統廃合の余地はない。廃止休止については、事業統合したばかりのため、今後の経過をみて判断する必要がある。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、1件分の補助額のみのため削減余地はない。最小限の人員で複数の事業を分担して行っているため、人件費の削減余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市は1/3を補助し、事業者は残りの事業費を負担をしているので適正である。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 事業者のニーズ把握に努めながら、商工会に対して事業者に有効な事業実施を行うように促す。	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 新に意欲のある事業者に対しては、今後も支援が必要であると思うが、顧客の満足度アップ、販路の拡大等の目標値を設定し、次年度以降に検証する必要があるのではと考える。	※担当部長が記載 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	29	日
事務事業名	観光事務費				事業類型	総務事務	点検日		年		月
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	植田 剛史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり									
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名	3 観光情報の発信									
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	観光事務費	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要											
【全体概要】 定住人口の増加が伸び悩むなか、「地域産業の活性化」や「郷土愛の醸成」を目的とした観光振興をすすめることで交流人口増加を図る。						【業務内容】 観光振興を図るため、観光PR用パンフレット作成、各種観光キャンペーンや観光事業を共同で行う協議会への参加。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
観光客及び市民	人口	人	55312.0	55131.0	54772.0	54300.0	54000.0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
観光PRの参加、観光パンフレットの作成、参画・連携など観光事務事業の遂行に必要なツールの活用をすることで、観光資源のPRを行う。	市HP更新回数	回	113	107	120	120	120	
	パンフレット印刷部数	冊	10000	60000	350000	350000	350000	
	加入協議会・委員会数	団体	4	4	4	4	4	
	観光PRイベント参加回数	回	25	30	30	30	30	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・観光客の増加を目指す。	市HP閲覧者数(年間)	回	6500	6800	7000	7000	7000	
	年間観光入込客数	人	266000	230770	300000	300000	300000	
	茨城県植物園入込客数	人	63742	57234	60000	60000	60000	
	那珂のひなまつり入込客数	人	48285	41036	45000	45000	45000	
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	5,913	6,881	5,736	5,965	6,294	0
	事業費計(A)	千円	5,913	6,881	5,736	5,965	6,294	0
	人件費計(B)	千円	2,905	2,635	2,635	2,635	2,635	0.60人 0.55人 0.55人 0.55人
投入量(A)+(B)	千円	8,818	9,516	8,371	8,600	8,929		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	那珂市の地域資源を活用した観光振興を図るため、各種観光情報を発信するために必要な事務が必要となった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	多くの周辺自治体が観光振興を重要施策と位置付けている。このような中、観光資源発掘・活用や知名度向上等の観点から県央地域市町村が連携した周遊型観光推進やフィルムコミッション事業へも注目が集まっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	積極的に観光キャンペーンやマスメディアを利用し、那珂市をアピールする機会を設けるようにとの声がある。							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
			<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	県央地域の協議会において、周遊型ツアーの開催や、茨城空港・上野駅などの主要地点において合同の観光PRを実施するなどし、地域としての誘客増に向けて取り組んだ。		

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業は関係機関と連携しながら観光振興を行うことにより成果向上が期待できるが、その役割について民間事業者等では、対応が困難な部分があり、市が関与していくことは妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 参加するキャンペーンやイベントなどの回数が増えていることから、パンフレットなどの内容を精査し、市外県外へのPRを強化することで、更なる交流人口の増加を見込む。
	③ 類似事業との統廃合余地(廃止・休止の可能性)	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 観光振興事業は、おおよそ交流人口の増を指標としているが、それぞれの事業で目的が違うことから統廃合の余地はない。また本事業を廃止した場合に観光PRの規模縮小や関係機関との連携が取れなくなるなど、観光客の減につながる可能性がある。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費及び人件費については、積極的な観光振興を目的とした観光キャンペーン参加回数の増加を背景に抱えながら必要最低限の経費で見積もっているため削減の余地はない。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市の観光振興に係る事務経費のため、受益者に該当するものはない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善             }																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 情報発信の方法について改善・強化を図り、観光資源のPRを充実させ観光誘客数増につなげる。また加入している協議会等と連携して、市単独ではなく周辺地域を取り込んだ地域でのPR活動を行う。		改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))    ※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続    ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 情報発信については、シティプロモーション推進室等と連携を図り、より効果的・有効的な方法がないかを検討する必要がある。また、広域的観光(周遊型ツアー)についても、近隣市町村(協議会等)と連携を強化し、今後も、本市を含めた県央地域全体での観光振興策を展開していくべきである。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続    ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続    ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	30	日	
事務事業名	なかひまわりフェスティバル事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名	1 観光イベントによる地域活性化										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	なかひまわりフェスティバル事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 那珂総合公園を会場に、市の花「ひまわり」をシンボルとしたイベントを実施。また、公園周辺の畑4haに25万本のひまわりを咲かせ、市民協働によるイベントを開催する。						【業務内容】 イベント及び花火大会の運営補助及びひまわり畑の作付け						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
観光客及び市民	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への出席。 ひまわりの耕作委託に関する事務。 会場までのシャトルバス委託業務。	ひまわり作付面積	ha	4.	4.	4.3	4.3	4.3	
	チラシ作成部数	部	37000.	32000.	40000.	40000.	40000.	
	HP更新回数	回	20.	20.	20.	20.	20.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・多くの方に来場してもらい楽しんでもらう。 ・那珂市の良さを知ってもらえるよう来場者を増やす。 ・那珂市に訪れてもらうことで市の活性化を図る。	なかひまわりフェスティバル 来場者数	人	40000.	33000.	40000.	45000.	50000.	
	市HP閲覧者数(年間)	回	6500.	6800.	7000.	7000.	7000.	
	参加団体数	団体	87.	96.	100.	100.	100.	
	年間入込客数	人	266000.	230770.	300000.	300000.	300000.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	13,264	13,197	12,744	13,281	13,281	0
	事業費計(A)	千円	13,264	13,197	12,744	13,281	13,281	0
人件費計(B)	千円	2,940	2,285	2,285	2,285	2,285		
		0.60人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人		
投入量(A)+(B)	千円	16,204	15,482	15,029	15,566	15,566		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	旧那珂町の花「ひまわり」(昭和60年制定、現在は市の花)を周知することにより、町をPRする手段として開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	多年にわたるPR活動やインターネットの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外・県外の住民にも周知され、多くの観光客が訪れることができるようになった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・夏のひまわりからは「ひまわりオイル」が搾取できる。							



(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市内外の人に対して那珂市の花「ひまわり」の周知とともに、市のPR及び観光客誘致につながる絶好の機会となっており、多数の来園者が見込まれる市を代表するイベントであるため、市が補助金を交付して支援することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市商工会が主体の実行委員会を組織してフェスティバルを開催しており、地元の団体・業者との連携をさらに深め、地域ぐるみで盛り上げることで、参加団体と来場者の増加が期待できる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業が無いことから統廃合はできない。観光PR・市民交流・生涯学習発表等の場となっており、観光客の減少にもつながることから廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント内容の見直し等により事業費の削減余地があるものの、質の低下による来場者数の減少につながるため賢明ではない。 人件費は、すでに実施主体を商工会に移行していることから削減できる余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 参加団体から出店料を徴収しており適正と考える。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果																							
参加団体を増やし地域ぐるみで盛り上げることで、市民活動の活性化を図るとともに、来場者を増やすことで地域活性化を図る。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市民協働の観点から、さらに参加団体・協賛企業等を募り、市及び市民全体で盛り上げる機運を高めていく必要がある。 アンケート調査では、イベント内容のマンネリ化の指摘があったが、実行委員会で内容・課題等を整理し、来場者が更思い出に残るようなフェスティバルにして欲しい。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	28	日	
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	植田 剛史								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名	3 観光情報の発信										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	団体補助事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 那珂市の観光振興のための各種イベントの主催・共催並びに広報活動・観光施設整備等に対して助成を行う。						【業務内容】 ・観光協会の事務・各種イベント(市内観光地めぐり、月見の会、夜桜等)						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市民及び観光客 観光協会	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.		
	観光協会会員数	人	240.	223.	260.	270.	270.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・補助金を交付することによりイベント主催・共催・後援、観光PR活動、観光地保全及び整備を実施する。	主催・共催したイベント数	回	5.	5.	5.	5.	5.		
	観光PR実施回数	回	40.	42.	40.	40.	40.		
	観光協会HP更新回数	回	113.	109.	120.	120.	120.		
	観光案内看板設置箇所数	箇所	22.	22.	22.	22.	22.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・観光客に当市を知ってもらい観光客を増やす	年間観光入込客数	人	266000.	230770.	300000.	300000.	300000.		
	年間観光協会HP閲覧数	回	518280.	559536.	550000.	550000.	550000.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費		
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500		
	事業費計(A)	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	0	
人件費計(B)	千円	2,470	0.50人	2,985	0.65人	2,985	0.65人	2,985	0.65人
投入量(A)+(B)	千円	5,970	6,485	6,485	6,485	6,485	6,485		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	観光振興と文化の発展を図るため昭和31年に発足した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	多年にわたるPR活動やSNSの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できるようになり、また道路網の発展により、市外から多くの観光客が訪れることが可能になった								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	さらなる観光案内看板の設置、ホームページへ最新情報の更新、自主財源の確保、法人化等の意見がある。								

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0千円) (人件費 0千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 ① 市関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 ② 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性 ④ 事業費や人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性 ⑤ 受益者負担の適正余地	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)

3 計画の部(PLAN)																								
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 団体会員の増加、グッズ販売等により自主財源の確保に努める。 個人の情報収集ツールは様々であることから、イベントのターゲット層に対して的確なPR方法を選択し、効率的に集客を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 観光協会の自立化のためには、会員数の増加とグッズ売上の増加は必須である。 そのため、市内会員にとどまらず、例えば「いい那珂暮らし応援団」の会員や「友好姉妹都市」の職員等にも呼びかけ、会員数の増加を図ってはどうか。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																								

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	23	日
事務事業名	清水洞の上整備事業				事業類型	施設の運営、維持管理					
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用									
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	清水洞の上整備事業	根拠法令	清水洞の上公園設置及び管理に関する条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
<b>事業概要</b>											
【全体概要】 豊かな自然が残る清水洞の上地区を、様々な生物が生息し、市民がくつろげ、自然を生かした自然体験学習ができる貴重な場所として整備を進める。						【業務内容】 ・清水洞の上自然を守る会との連携・公園の維持管理 ・第2次計画区域の整備					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び来園者 公園	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.
	公園面積	ha	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
公園内の維持管理及び清水洞の上自然を守る会との連携 第2次計画区域(3.7ha)の用地取得・整備工事	守る会の作業回数	回	20.	23.	25.	25.	25.
	公園パンフレット作成枚数	枚	2000.	2000.	2000.	2000.	2000.
	用地取得面積	ha	1.5	0.	1.1	1.	0.
	工事発注件数	件	4.	0.	0.	0.	1.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
清水洞の上地区を知ってもらい観光客を増やす・郷土愛を育む・市民活動の活性化を図る 2次計画区域を整備する	ほたる観賞会来場者数	人	1200.	1500.	1500.	1500.	1500.
	守る会会員数	人	183.	186.	190.	200.	200.
	作業参加者数(延べ人数)	人	395.	500.	500.	500.	500.
	第2次計画区域の整備状況(整備面積)	%	50.	50.	50.	50.	100.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	11,392	0	0	870	0
	所在地債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	24,000	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,190	650	859	8,059	19,989
	事業費計(A)	千円	43,582	650	859	8,059	20,859
人件費計(B)	千円	2,120	0.40人	2,285	0.45人	2,285	0.45人
投入量(A)+(B)	千円	45,702	2,935	3,144	10,344	23,144	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	平成7年3月に制定した「清水洞の上地区整備研究調査報告書」に基づき、整備計画策定委員会を組織して整備に向けた取り組みを開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・「清水洞の上自然を守る会」が発足し、地域住民と市と協働し、積極的な管理活動を行っている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・より良い公園にしてほしい・未整備部分の工事着工を早期実現してほしい・「清水洞の上自然を守る会」が維持管理を継続できるのか(公園を拡大した場合を含む)・「清水洞の上自然を守る会」会員の高齢化が懸念						



評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	30	日	
事務事業名	静峰ふるさと公園管理事業				事業類型	維持管理						
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	静峰ふるさと公園管理事業	根拠法令	静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>												
【全体概要】 「日本さくら名所100選」に選ばれている静峰ふるさと公園を訪れる人々が、快適に利用できるよう維持管理を行う。						【業務内容】 ・除草作業 ・樹木の剪定 ・グラウンド・ゴルフ場の管理 ・桜の植栽						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
来園者 施設及び樹木	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.	
	管理面積	ha	12.	12.	12.	12.	12.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
除草及び樹木の剪定・植栽等を行い、グラウンド・ゴルフ場を含め公園を良好な状態に維持管理する。	作業日数	日	309.	308.	309.	308.	308.	
	公園清掃日数	日	144.	138.	140.	140.	140.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・来園者が快適かつ安心して利用できるようにする。	年間来園者数	人	68076.	85549.	95000.	95000.	95000.	
	八重桜まつり入場者数	人	47000.	38000.	41000.	45000.	50000.	
	グラウンド・ゴルフ利用者数	人	2156.	3333.	3333.	3333.	3333.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	2,336	3,179	617	445	445	0
	一般財源	千円	9,982	30,896	43,247	46,326	46,228	0
	事業費計(A)	千円	12,318	34,075	43,864	46,771	46,673	0
人件費計(B)	千円	4,105	2,285	2,285	2,285	2,285	0.45人	
			1.05人	0.45人	0.45人	0.45人		
投入量(A)+(B)	千円	16,423	36,360	46,149	49,056	48,958		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	・市民の憩いの場を確保することを目的に開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・施設の経年劣化が進んでいる。 ・樹木の古木化が進んでいる。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・きれいに管理されている。 ・園内にグラウンド・ゴルフ場案内看板の設置をしてほしい。 ・遊具の更新							

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	新設した大型遊具で安心して遊んでもらえるよう遊具施設と合わせて保護者の見守り施設を設置した。 また、再開した「しどりの里」と「公園事務所」の維持・管理について、一体的に管理していく必要がある(人件費等の削減が見込める)ことから、農政課と協議した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が管理・運営する公園であることから妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 樹木や施設が老朽化しているため定期的な点検やメンテナンスを継続的に行うことが必要である。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業に類似事業はない。廃止した場合は既整備地の荒廃や市民の憩いの場の減少、観光客の減少につながるため廃止できない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園を良好な環境で維持するため最低限の費用で行っており事業費削減の余地はない。施設修繕作業を職員が直接行っており、作業負担は限界を超えているため人件費削減の余地はない。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 園内施設に有料部分を設け、使用料を徴収しているため妥当である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 樹木の診断・更新を行い、魅力的な景観を維持していく。また、老朽化した施設については、異常に備え定期的な点検・メンテナンスを行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下			×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		○																		
維持			×																	
低下			×																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 定期的な樹木の診断・更新を行うことにより、魅力的な景観の維持に努める必要がある。また、老朽化した施設等についても、定期的な点検を実施したり、リニューアルした公園の「案内図」等を設置し、来訪者にやさしい公園づくりを目指して欲しい。																				
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																				
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																				

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	30	日	
事務事業名	八重桜まつり事業				事業類型	補助金	点検日	年	月	日		
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	植田 剛史								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名	1 観光イベントによる地域活性化										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	八重桜まつり事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			
事業概要												
【全体概要】 日本さくら名所100選に選ばれている静峰ふるさと公園で、「八重桜まつり」としてイベントを開催することにより、観光客の誘致及び各種団体の自主活動の活性化を図る。						【業務内容】 イベントの運営の補助及びまつり期間の公園管理業務						

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民及び観光客	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への共催・参画。駐車場警備、ゴミ処理、臨時トイレ借上げ等委託契約などまつり開催に伴う事務。	まつり開催日数	日	19.	16.	14.	14.	14.	
	イベント開催日数	日	3.	3.	3.	3.	3.	
	PR回数	回	9.	11.	11.	11.	11.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・たくさんの方に来場してもらい楽しんでもらう ・観光客を増やす・市民の郷土愛を育む	イベント参加団体数(実数)	団体	80.	102.	102.	102.	102.	
	年間観光入込客数	人	266000.	230770.	300000.	300000.	300000.	
	来場者数(桜期間)	人	47000.	38000.	41000.	41000.	41000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	5,482	2,844	4,454	4,625	4,625	0
	一般財源	千円	3,500	5,053	4,245	7,068	7,068	0
	事業費計(A)	千円	8,982	7,897	8,699	11,693	11,693	0
人件費計(B)	千円	2,705	2,285	2,285	2,285	2,285	0.45人	
		0.55人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人		
投入量(A)+(B)	千円	11,687	10,182	10,984	13,978	13,978		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	昭和40年に町民の憩いの場を提供するために静峰ふるさと公園を造成し、観光客誘致のためイベントを開催することになったため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	「日本さくら名所100選」に選ばれたことや、インターネットの普及により地域住民のみならず広くイベント周知ができるようになったことで、県内外から多くの集客を集めることが可能となった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・桜だけではなく、四季を楽しめる公園にしてほしい。・継続して開催してほしい。							





評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	31	日	
事務事業名	白鳥保護事業				事業類型	維持管理		点検日	年	月	日	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	藤 哲也								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画対象事業					
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	白鳥保護事業		根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 古徳沼及び一の関ため池に飛来する白鳥の保護啓発及び古徳沼における見学者のための施設管理						【業務内容】 ・飛来数確認 ・トイレや駐車場の維持管理 ・広報活動						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市民及び観光客 ・白鳥	人口最大白鳥飛来数(古徳沼)	羽	119.	137.	150.	150.	150.
	最大白鳥飛来数(一の関ため池)	羽	71.	70.	80.	80.	80.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・白鳥の餌の確保、ケガをした白鳥の保護 ・古徳沼駐車場及びトイレ維持管理 ・広報活動	市HP更新回数	回	113.	120.	120.	120.	120.
	餌の譲受回数	回	266.	69.	70.	70.	70.
	ケガ等による白鳥保護羽数	羽	1.	5.	2.	2.	2.
	トイレ・駐車場清掃回数		76.	71.	73.	73.	73.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・那珂市の知名度を上げ観光客を増やす。	年間観光入込客数	人	266000.	230770.	300000.	300000.	300000.
	見学者数(古徳沼)	人	4886.	6382.	6500.	6500.	6500.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	313	743	49	49	49
	一般財源	千円	471	106	977	981	981
	事業費計(A)	千円	784	849	1,026	1,030	1,030
人件費計(B)	千円	1,235	1,280	1,280	1,280	1,280	0.25人
投入量(A)+(B)	千円	2,019	2,129	2,306	2,310	2,310	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	古徳沼に飛来する白鳥の保護事業を行っていたことによる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	白鳥の飛来する場所が分散傾向にあり、特定の湖沼にて越冬することが減少した。 また、白鳥の排泄物やため池の蓄積されている汚泥などにより水質悪化が懸念される。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・餌の量が足りないので白鳥が分散しているのではないかと懸念されている。 ・餌の食べ残しが水質を悪化させている。 ・マナーのない釣人が残したゴミ等により白鳥が負傷する可能性があるため釣り禁止にしてほしい。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 古徳沼、一の関ため池親水公園に飛来する白鳥の見学に訪れる観光客に対し、トイレや駐車場の維持管理を適切に行った。また、状況に応じ必要な維持管理等を適切に行った。
		(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円 (人件費) <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円 <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円 (人件費) <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">0</span> 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民や観光客が白鳥を見学する際に利用する駐車場及びトイレ等の整備は、地元住民の迷惑にならないよう市が設置していることから、その維持管理は市の責務である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント等において市の観光PRを実施することにより、白鳥見学者の増加が見込まれる。また、市の知名度アップにもつながり、訪れる観光客の市内での買い物等の機会が多くなれば、市への経済効果が期待できる。
妥当性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業は、白鳥見学者の環境維持管理的な内容のため観光事務費との統合余地がある。休止については、見学者の利便性が悪くなり見学者の減少及び市のイメージダウンにつながるためできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 白鳥見学者のための最小限の環境維持管理費用のため削減の余地はない。人件費については、すでに最低限であることから、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 見学者の利便性向上及び近隣住民の迷惑を防止するための事業であることから、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 秋のイベント等において、観光資源である白鳥を含めた観光PRを実施し、冬の時期においても安定的な観光客の誘致に努める。事業自体は、管理的経費の要素が強いため観光事務費との統合を検討する。	※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 現状維持 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 白鳥の保護に特化した事業というより、白鳥を観光資源の一つとして位置付け、観光事務費と統合することには賛成である。	
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 現状維持	
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 現状維持	

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	30	日				
事務事業名	一の閑溜池公園管理事業				事業類型	維持管理									
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	植田 剛史											
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活あふれる交流と賑わいのまちづくり					■ 実施計画 対象事業								
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る													
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用													
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 一の閑溜池公園管理事業	根拠法令	那珂市曲がり屋設置管理条例								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要															
【全体概要】 一の閑溜池公園及び曲がり屋の適正な維持管理						【業務内容】 公園の緑化管理及び施設設備の維持管理業務									

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・公園内の設備及び草木・公園利用者 曲がり屋	一の閑溜池公園面積	m <sup>2</sup>	17955.	17955.	17955.	17955.	17955.
	樹木管理本数	本	569.	569.	569.	569.	569.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
植栽の維持管理委託、曲がり屋及び各種設備維持管理 イベント等に利用してもらう	緑化管理回数	回	19.	18.	19.	19.	19.
	イベント開催件数	回	8.	12.	12.	12.	12.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
より良い環境を保ち、市民の憩いの場を提供するとともに、多くの方に来園してもらう。	設備の不具合発生件数	件	3.	4.	0.	0.	0.
	年間観光入込客数	人	266000.	230770.	300000.	300000.	300000.
	曲がり屋入込客数	人	19469.	22079.	24000.	26000.	26000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	1,900	2,562	43	43	43
	一般財源	千円	9,692	7,600	11,281	11,427	11,427
	事業費計(A)	千円	11,592	10,162	11,324	11,470	11,470
人件費計(B)	千円	2,060	2,285	2,285	2,285	2,285	0.45人
			0.50人	0.45人	0.45人	0.45人	
投入量(A)+(B)	千円	13,652	12,447	13,609	13,755	13,755	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	一の閑溜池親水公園完成後、施設の維持管理事業として開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	那珂市曲がり屋が隣接し、冬季には白鳥が飛来する公園として周知されてきた。 平成30年度に曲がり屋の大規模修繕が実施された。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	<ul style="list-style-type: none"> <li>池の水が汚い・曲がり屋の利用拡大(読み聞かせなど)</li> <li>園内の砂利道が歩きづらく舗装してほしい</li> <li>市民に市を代表するふるさとの景色として認知されている。</li> </ul>						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <p>茅葺屋根の修繕作業については20年ぶりということもあり、映像資料として残したことから、今後のPRに活用していく。また民間団体と連携してイベントを実施し、集客増につなげた。</p>															
		(見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> <li>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</li> </ul>
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> <li>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</li> </ul>
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> <li>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</li> </ul>
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <ul style="list-style-type: none"> <li>●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</li> </ul>
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</li> </ul>

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 40%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → {</li> <li style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 目的の再設定    <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善    <input type="checkbox"/> 効率性の改善</li> <li style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 公平性の改善</li> </ul> </div> <div style="width: 55%; text-align: right;">           ※担当課長、グループ長、担当者が記載         </div> </div>																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 交通利便性と曲がり屋や冬季の白鳥を活かしたPRを行い、イベント開催と来園者の増加を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul> 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 市役所の眼下にある公園としてPRするとともに、「曲がり屋」「白鳥」等の地域資源を活用した集客力アップに努める必要がある。また、「つるし雛まつり」や「月見の会」等のイベントを随時開催し、公園の利活用を図る必要がある。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了    <input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input type="checkbox"/> 統廃合    <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し    <input type="checkbox"/> 現状維持 )</li> </ul>																						

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	29	日				
事務事業名	特産品ブランド化推進事業				事業類型	活動支援									
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	寺門 賢一											
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業							
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る													
	基本事業名	1 商業の振興													
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 特産品ブランド化推進事業	根拠法令									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
<b>事業概要</b>															
【全体概要】 特産品の付加価値向上及び競争力強化を図るため、品目ごとに定める認証基準に適合する「那珂市特産品ブランド」を認証して、確かな品質・技術を伝える地場産品である証をアピールし、消費者の信頼を高め、地場産業の活性化を図る。						【業務内容】 那珂市特産品のブランド認定システムの運営 ・推進協議会及び認証委員会の運営 ・認証品パンフレットの作成 ・認証品のPR活動 等									

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市内特産品を生産及び加工する事業者	商工会部会会員数(商業・サービス業)	人	603.	588.	588.	588.	588.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
認証品の募集をする。 認証品についてはPR活動を行う。	申請件数	件	10.	12.	12.	12.	12.
	認証品PR実施回数	回	22.	25.	25.	25.	25.
	認証件数	件	30.	32.	32.	32.	32.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
事業者に対し、特産品の意識啓発を図り特産品の積極的な掘り起し及び開発を促進させる。ブランド品はPR活動を通してイメージ向上と販路拡大をし、市の産業の発展に繋げる。	新規認証件数	件	5.	4.	4.	4.	4.
	更新認証件数	件	5.	8.	8.	8.	8.
	特産品ブランドコーナー設置店舗	店舗	1.	1.	1.	1.	1.
	特産品ブランドコーナー設置店舗売上	万円	222.	403.	403.	403.	403.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	52	23	10	10	10
	一般財源	千円	1,022	936	1,401	1,401	1,401
	事業費計(A)	千円	1,074	959	1,411	1,411	1,411
人件費計(B)	千円	2,305	2,820	2,820	2,820	2,820	0.43人 0.50人 0.50人
投入量(A)+(B)	千円	3,379	3,779	4,231	4,231	4,231	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	那珂市における地域資源を活用した商品づくり、それらに関する情報発信及び維持向上を図るため、地域資源のブランド化を効率的に推進し、地場産業の活性化に資するため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	那珂市として地域資源の発掘と市民への周知が必要とされている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	ブランド認証された業者から、「売り上げアップにつながった」、「店頭に並んだ際に同様な商品と差別化が図られた」などの意見をいただいている。						

(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(見直し内容に関する予算への反映) <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>削減(事業費)</td><td style="border: 1px dashed black;">0</td><td>千円)</td></tr> <tr><td>(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black;">0</td><td>千円)</td></tr> <tr><td>増加(事業費)</td><td style="border: 1px dashed black;">0</td><td>千円)</td></tr> <tr><td>(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black;">0</td><td>千円)</td></tr> <tr><td colspan="3">■ 反映なし</td></tr> </table>	削減(事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	増加(事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	■ 反映なし		
削減(事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
増加(事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
■ 反映なし																	

### 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

<b>目的妥当性評価</b> <p>① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域資源を活用した商品や市のPRとなる商品を特産品ブランドとして認証し地場産業の活性化を図ることが、市の施策であり市の活性化につながるから妥当である。
<b>有効性評価</b> <p>② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？</p>	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成30年度までに32商品が認証されているが、引き続き地域産業の活性化を図るために認証を行っていく。今後は、より市のイメージアップにつながる商品や6次産業化された商品を認証していくことでブランド力を高める必要がある。
<b>評価</b> <p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合はできない。産業活性化を目的としている事業のため、廃止・休止にはできない。
<b>効率性評価</b> <p>④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 特産品認証制度を継続しさらなるイメージアップと販路拡大を図っていくための最小限の事業費で行っていることから、事業費削減の余地がない。最小限の人員で複数の事業を担当しているため、人件費削減の余地はない。
<b>公平性評価</b> <p>⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 事業者の意識向上や新たなブランド商品開発促進を目的としているので、事業者の負担を求める事業ではない。

### 3 計画の部(PPLAN)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } { <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 地域資源を活用した新たな商品の認証を図るとともに、現在の認証商品の販路拡大につながるPRを行うことで、特産品のイメージアップと産業活性化を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%;">○</td><td></td></tr> <tr><th>維持</th><td style="border: 1px solid black;">X</td><td style="border: 1px solid black;">X</td><td style="border: 1px solid black;">X</td></tr> <tr><th>低下</th><td style="border: 1px solid black;">X</td><td style="border: 1px solid black;">X</td><td style="border: 1px solid black;">X</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持	X	X	X	低下	X	X	X
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持	X	X	X																			
	低下	X	X	X																			
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) ブランド特産品認証数(32商品)を単に増やすのではなく、今後は、その認証品をどうPRし、どう販路拡大を図っていくかが課題である。今後は、事業者も巻き込んで、積極的に販路の拡大を検討していく必要がある。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																							

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	30	日	
事務事業名	産業祭事業				事業類型	補助金	点検日		年		月	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	寺門 賢一								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり										
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る										
	基本事業名	1 商業の振興										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	02	事業名	産業祭事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 商工会や農業団体、事業者などが連携し、地元農産物や工業製品等の展示販売し、市内の産業をPRする産業祭開催の支援を実施						【業務内容】 産業祭実施のための補助						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民及び近隣市町村民 市内の商工業者	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
実行委員会を組織し、補助する。 実行委員会が産業祭の開催を運営する。	実行委員会開催数	回	4.	4.	4.	4.	4.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
市内の産業を広く紹介し、事業者・生産者と消費者の交流機会を創出するとともに、多くの人に来場してもらう。	来場者	人	0.	8500.	8500.	8500.	8500.	
	出店数	事業者	0.	63.	63.	63.	63.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
			0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,139	2,480	2,100	2,600	2,600	0
	事業費計(A)	千円	2,139	2,480	2,100	2,600	2,600	0
人件費計(B)	千円	2,595	2,590	2,590	2,590	2,590		
		0.48人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人		
投入量(A)+(B)	千円	4,734	5,070	4,690	5,190	5,190		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	商工会、農業団体、事業者などが連携をすることにより、地元農産物や製品などを多くPRすることができるためH27から開催している。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近隣市町村でも同様のイベントが行われ盛り上がりを見せている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	イベント参加を通して同業種との横の連携などの良い機会となったとの意見をいただいている。							



(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	(見直し内容に関する予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li style="padding-left: 20px;">(人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li><input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li style="padding-left: 20px;">(人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 30px; text-align: center;">0</td></tr></table> 千円)</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</li> </ul>	0	0	0	0
0						
0						
0						
0						

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 実行委員会は、実質的に市が事務局となって運営しているが、農商工の市内事業者と市民の交流を目的としたイベントであるため、農商工の団体が主体となる必要がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内より多くの事業者に参加してもらい、来場者を増やすことで、市内企業の認知度アップや販路拡大等産業活性化が図られる。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合はできない。事業者と市民の交流の場を失くすことになるため休止できない。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント運営は最小限の費用で行っているため、事業費削減余地はない。実行委員会事務局を農商工団体に移管できれば、人件費の削減が見込める。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 各団体からは負担金、参加団体からは出店料を徴収しており、適正だと考える。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善</li> <li><input type="checkbox"/> 公平性の改善</li> </ul> }																						
<input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 出展内容やイベント内容の充実により来場者を増やし、事業者と消費者の交流により産業関係団体の事業の進展、販路拡大につなげることで産業活性化を図る。実行委員会の運営については、各団体が主体となるように協議を継続していく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 産業(農・商・工)関係団体等が一同に会し、市民等との交流を深めることで、那珂市はこんな産業が盛んなのか、こんな農作物とれるんだという認識を持っていただくことは、大変重要な機会であると思います。 将来を担う子ども達にも「那珂市」の魅力を伝え、将来は、那珂市で起業しようと思えるような「産業祭」になることを望みます。	

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	

評価対象年度	平成30年度	事務事業評価シート			作成日	令和元	年	5	月	30	日
事務事業名	よろず相談事業				事業類型	専門員配置	点検日	年	月	日	
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	寺門 賢一							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり								■ 実施計画対象事業	
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る									
	基本事業名	3 雇用対策の促進									
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	02	事業名	よろず相談事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 商工観光課に企業コーディネーターを配置し、ワンストップの相談窓口を設けることで、起業における相談、支援や企業支援に対する窓口業務の強化並びに一本化を図る。						【業務内容】 専門員による窓口相談業務及び企業訪問業務					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内企業及び創業予定者	事業所数(経済センサス/H26基礎調査)	箇所	2009.	2009.	2009.	2009.	2009.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
市役所内に相談窓口の設置 市内企業の訪問	市内企業数	件	166.	209.	209.	209.	209.
	訪問及び相談件数	件	651.	843.	843.	843.	843.
	コーディネーター配置数	人	1.	2.	2.	2.	2.
			0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
企業における経営上の問題解決を支援する 創業を支援する	問題対応数	件	335.	496.	496.	496.	496.
	創業支援者数	人	6.	2.	2.	2.	2.
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 財源内 費	国庫支出金	千円	2,560	3,745	4,400	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,560	4,029	4,897	21,510	9,510
	事業費計(A)	千円	5,120	7,774	9,297	21,510	9,510
	人件費計(B)	千円	2,140	0.38人	3,170	0.60人	3,170
投入量(A)+(B)	千円	7,260	10,944	12,467	24,680	12,680	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	市と企業の「顔の見える関係」づくりを進めるにあたり、専門家を配置し企業の様々な相談に応じるなどの支援を行うために、まちひとしごと総合戦略策定を契機に平成28年度から事業を開始した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい情勢であり、企業力強化に向けた支援が必要とされている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	コーディネーターと経営者が話しながら課題等を整理していくことができ、今後も様々な企業の相談を聞いてほしい等の意見がある。						

<b>(4) 前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み</b>		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 企業コーディネーター1名増員し、新たな企業の訪問やこれまでより多くの支援をした。また、関係支援機関と綿密な連携を図り、市内企業のニーズに沿った活動をした。
		(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 2,654 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

**2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 市関与の妥当性</b> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内企業を対象としたマッチング、販路拡大、事業承継などの様々な課題解決を支援することから、市関与は妥当である。
有効性 評価	<b>② 成果の向上余地</b> ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 企業が相談しやすいように企業コーディネーター活動の周知を図る。創業支援施設を開設することにより、創業者支援とあわせて企業支援を行っていく。
評価	<b>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</b> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合はできない。市内企業を支援するための事業であるため、休廃止はできない。
効率性 評価	<b>④ 事業費や人件費の削減余地</b> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業で行う内容が増しているため平成30年度からコーディネーターを1名を増員しており、事業費削減余地はない。人件費は、必要最小限の人員で事業量の増加に対応しており削減余地はない。
公平性 評価	<b>⑤ 受益者負担の適正余地</b> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 企業を支援するだけではなく、創業支援など幅広いアドバイスを目的としているので、負担を求める事業ではない。

**3 計画の部(PPLAN)**

<b>(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 企業に対しては、引き続きニーズにマッチする支援を行っていく。また、創業支援施設の開設に向けて企業コーディネーター、商工会と綿密な連携を図る。																						
改革・改善による期待成果																						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		

<b>(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	※担当部長が記載
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 事業開始から3年、企業の抱える課題に対し、企業支援コーディネーターが伴走的に支援してきたことで、着実に成果は挙がっている。今後も、継続的な支援や情報提供等を行い、相談業務の充実を図ることが、企業が元気になっていくことと信じ、一つでも多くの企業を支援して欲しい。	

<b>(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	
---	--

<b>(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )	
--	--

評価対象年度	平成30年度	<b>事務事業評価シート</b>			作成日	令和元	年	5	月	28	日
事務事業名	静峰ふるさと公園魅力向上事業				事業類型	施設の整備改修					
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	植田 剛史							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 静峰ふるさと公園魅力向上事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成27年度～令和5年度)					
<b>事業概要</b>											
<b>【全体概要】</b> 静峰ふるさと公園の魅力向上のため、大型児童遊具整備や公園樹木の更新を行うことで、公園利用者の集客アップと併せて地域資源を活かした観光の振興を図る					<b>【業務内容】</b> 大型児童遊具整備や桜樹木の更新、その他施設の修繕をおこなう						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (見込)	02年度 (計画)	03年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光来訪者 公園及び施設・設備	人口	人	55312.	55131.	54772.	54300.	54000.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
検討委員会において、公園整備内容及びイベント実施等の検討を行い、遊具や施設の整備、樹木更新やソフト事業を展開する。	イベント開催回数	回	3.	5.	10.	15.	15.
	観光PR実施回数	回	40.	42.	40.	40.	40.
	HP更新回数	回	30.	30.	30.	30.	30.
	検討委員会開催数	回	4.	1.	3.	3.	3.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
公園の魅力向上を図ることにより、来園者を増加させ、市内外の交流人口の増加、市の知名度の向上を目指す。	来園者数	人	68076.	85549.	95000.	95000.	95000.
	更新した樹木数(桜)	本	0.	120.	0.	100.	0.
	年間観光入込客数	人	266000.	230770.	300000.	300000.	300000.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	01年度(見込)	02年度(計画)	03年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	93,500	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	152,600	19,200	0	0	0
	その他	千円	0	14,000	0	0	0
	一般財源	千円	8,214	4,169	4,484	23,033	23,033
	事業費計(A)	千円	254,314	37,369	4,484	23,033	23,033
人件費計(B)	千円	2,060	1,355	1,355	1,355	1,355	
		0.35人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	
投入量(A)+(B)	千円	256,374	38,724	5,839	24,388	24,388	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	昭和40年に静峰ふるさと公園を造成し約40年が経過、施設の老朽化及び八重桜の更新の時期を迎えていることや来園者が横ばいを推移していることから、既存の施設を新たな観光資源として創出することが必要である。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	近年、地方創生への施策に重点が置かれ、未来への投資、地方公共団体が実施する自主的・主体的な地域拠点づくりなどに重点的に支援する傾向がある。H29に大型遊具設置などリニューアルを図り来園者が増加している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	公園整備からの経年により園内施設の老朽化及び八重桜の老木化が進み、来園者から利便性及び景観、また、通年での利活用が望まれる意見がある。						

(4)前回(平成29年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み														
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) ノルディックウォーキング体験会やイベントを開催し、公園の新たな魅力を発信した。 (見直し内容に関する予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; width: 60%;">削減(事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 30%;">千円</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black;">増加(事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	削減(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	増加(事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円
削減(事業費)	0	千円												
(人件費)	0	千円												
増加(事業費)	0	千円												
(人件費)	0	千円												

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の魅力向上の取組みとして、観光資源である静峰ふるさと公園を活用してイベント等を開催し、交流人口の増加及び知名度の向上を図るために、市が関与することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園内の施設を利用した、ソフト事業の展開については、様々な可能性があり、イベント回数を増加させ交流人口を増やす余地がある。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園整備事業は当事業だけであり統廃合の余地はない。 ソフト事業を継続して展開することが、着実な集客増につながるから廃止・休止の余地がない。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 公園の魅力向上のために必要不可欠な整備費用、イベント開催費用を計上しており、事業費削減の余地がない。 人件費については最小の人員で対応していることから削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求めている事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めている事業ではない 市が管理する公園施設を利用して魅力向上を目指した事業であり、受益者負担を求めているものではない。

## 3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 施設を活かしたソフト事業の展開について、委員会で検討し、来園者の増加につながるイベントを開催する。公園PRとあわせてイベントの誘致を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 ) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 29年度までに整備した大型遊具等に加え、今年度から老木化した「桜の更新」を年次計画的に実施するなど、公園のリニューアルは、ほぼ完成に近づいてきている。 今後は、その施設を活かしたソフト事業について魅力向上検討委員会で検討し、来園者の増につながるイベントを仕掛けていって欲しい。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																						